

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p>【領域】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>□「言葉の特徴や使い方に関する事項」 ・全国平均を下回っている。</li> <li>□「情報の扱い方に関する事項」 ・全国平均を下回っている。</li> <li>□「我が国の言語文化に関する事項」 ・全国平均を下回っている。</li> <li>□「話すこと・聞くこと」 ・全国平均を下回っている。</li> <li>□「書くこと」 ・全国平均を下回っている。</li> <li>□「読むこと」 ・全国平均を下回っている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●文の成分の順序や照応について理解すること。</li> <li>●具体と抽象など情報との関係について理解すること。</li> <li>●行書の特徴を理解すること。</li> <li>●話合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめること。</li> <li>●表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。</li> <li>●文章と図を結びつけ、その関係を踏まえて内容を解釈することができること。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○文の成分同士の関係について理解し、活用できるようにする指導の充実</li> <li>○情報の中にある具体と抽象との関係を捉えることができるようにする指導の充実。</li> <li>○行書について理解を深め、使えるようにする指導の充実。</li> <li>○話題や展開を捉えながら話し合い、発言を結び付けて考えをまとめる指導の充実。</li> <li>○自分の考えが伝わる文章になるように、効果的に描写を工夫して書く指導の充実。</li> <li>○目的に応じて必要な情報に着目し、要約する指導の充実。</li></ul>

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p>【領域】</p> <p>□「数と式」 ・全国平均を下回っている。</p> <p>□「図形」 ・全国平均を下回っている。</p> <p>□「関数」 ・全国平均を下回っている。</p> <p>□「データの活用」 ・全国平均を下回っている。</p>	<p>●統合的・発展的に考え、成り立つ事柄を見いだし、数学的な表現を用いて説明することができること。</p> <p>●事象を角の大きさに着目して観察し、問題解決の過程や結果を振り返り、新たな性質を見いだすことができること。</p> <p>●事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができること。</p> <p>●複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができること。</p> <p>●複数の集団のデータの分布から、四分位範囲を比較することができること。</p>	<p>○事象における数量やその関係を文字を用いた式で表す活動の工夫。</p> <p>○事柄が成り立つ理由について筋道を立てて考え、説明する活動の充実。</p> <p>○予想した事柄が成り立つことを論理的に考察し表現することや、問題解決の過程や結果を振り返って新たな性質を見いだす活動の充実。</p> <p>○表、式、グラフなどを用いて問題解決する場面を設定し、それらの使い方について数学的に説明する活動の充実。</p> <p>○事象の数学的な解釈に基づいて、問題解決の方法を数学的に説明する活動の重視。</p> <p>○複数のデータの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を説明する活動の重視。</p> <p>○四分位範囲を用いて分布の特徴を捉える活動の充実。</p>

令和6年度 全国学力・学習状況調査

質問紙調査の結果概要及び改善の方向等について

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p><b>【学習・生活について】</b></p> <p>□学校の授業時間以外に、平日や休日に計画を立てて家庭学習をする習慣が身に付いていない生徒の割合が、昨年度の本校生徒の結果と比べると多くなっているが、今年度の全国平均と比べると少ない。</p> <p>□毎日同じくらいの時間に寝ている生徒の割合が、昨年度の本校生徒の結果と比べると多くなっていて、今年度の全国平均と比べると多い。</p> <p><b>【生徒の内面について】</b></p> <p>□先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う割合は、昨年度の本校生徒の結果と比べると著しく多くなっているが、今年度の全国平均と比べると少ない。</p> <p><b>【学校生活について】</b></p> <p>□学校に行くのは楽しいと感じている生徒の割合は、昨年度の本校生徒の結果と比べると多くなっているが、今年度の全国平均と比べると少ない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●家庭学習を習慣化できていない生徒がいること。</li> <li>●1・2年生の基礎学力が定着できていない生徒がいること。</li> <li>●基本的な生活習慣を確立できていない生徒がいること。</li> <li>●夜、遅く寝る生徒が多いこと。</li> </ul> <p>●昨年度の反省を受けて、教職員全員が、生徒の自己肯定感をより高められるように努めてきたが、まだ自己肯定感が低い生徒がいること。</p> <p>●昨年度の反省を受けて、改善されているが、各教科の授業を中心とした学習活動や学級活動等を含めた学校生活全般への取組が積極的でない生徒がいること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教職員全員で生徒が意欲的に取り組むことができる教材の工夫と基礎的な学力の定着を図れるよう努める。</li> <li>○生徒に応じた家庭学習への取組方法についての助言をする。</li> <li>○授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができるような授業の工夫をする。</li> <li>○遅刻をする生徒が多いので、声掛けを継続する。</li> </ul> <p>○教職員全員が、授業をはじめ、学校生活の中で生徒の良いところを見つけたら、ほめることに徹し、生徒の自己肯定感をより高められるよう努める。</p> <p>○教職員全員が生徒を温かく励まし、様々なことに前向きに挑戦できるよう支援することによって、生徒が少しでも達成感を得て、学校が楽しいと感じられるよう努める。</p>